

設置工事説明書

リモコン

工事される方へ

- 機器を正しく安全に使用していただくために、この設置工事説明書をよくお読みになって指定された工事を行ってください。
- 本品を指定する機器にご使用ください。



Rinnai

1 設置前の確認	5 通信ユニットの取付方法
2 付属部品	6 リモコン取付時のID登録のしかた
3 台所リモコンの取り付け工事	7 故障表示・メンテ情報表示について
4 浴室リモコンの取り付け工事	8 工事後の確認

1 設置前の確認

- 設置の基準
- パイプシャフト内に熱源機の電気配線・リモコン用配線をする場合は、必ず防爆構造にしてください。
- 次の法、基準に従って設置する。
- 電気設備技術基準 ●電気工事士法
 - 電気用品安全法
 - 日本ガス機器検査協会発行の「ガス機器の設置基準及び実務指針」
 - 内線規程
- 通信ユニットのケーブルを本体に設置するときには熱源機の電源プラグが抜いてあること。
(分電盤の専用スイッチが「切」になっていることを確認してから行ってください)



- 設置場所
- 全周が鉄板など金属で囲まれた場所に設置しない。
- 外壁が金属の場所および強い電磁界を発生する場所には設置しない。

2 付属部品

- MCTW-170は台所リモコン+通信ユニット(①+③)、BCW-170は浴室リモコン(②)の組み合わせになっています。

①	台所リモコン	取付板	リモコン取付ねじセット	電池(アルカリ乾電池単3形)	工事説明書	取扱説明書
②	浴室リモコン	取付板	リモコン取付ねじセット	電池(アルカリ乾電池単3形)	工事説明書	
③	通信ユニット	取付板	コードグラブ	U型バネ板ナット	取付ねじセット	取付ねじ

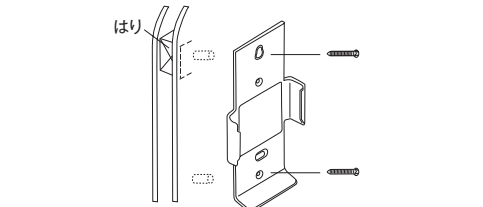
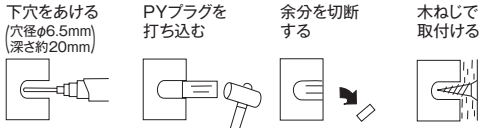
3 台所リモコンの取り付け工事

壁に取付板を固定する場合

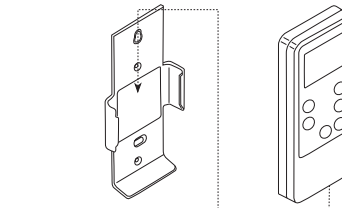
- (1)取付場所を選定する
- お客様と相談して使いやすい場所を選んでください。
 - 液晶表示部が見やすい場所を選んでください。
 - ガステーブルなど燃焼器具の上以外の場所を選んでください。
 - 直射日光・水しぶき・蒸気(やかんやポットの湯気など)・水滴のかからない場所を選んでください。
 - 周囲の壁が金属でない場所を選んでください。
 - 硫化水素、アンモニア等の多いところでは使用しないでください。
- 浴室には設置しないでください。
- 取付板を取り付ける前に台所リモコンで動作ができることを確認してください。
- このとき
- 台所リモコンに電池が入っていること。
 - 電池の取付は⊕⊖を確かめて行ってください。(詳しくは電池ふたの表示参照)
 - 台所リモコンは取付板に挿入していること。
 - 本体の電源プラグがコンセントに差し込まれていること。



- (2)取付板を同梱の木ねじ(2本)で取り付ける
- 必ず付属の木ねじを使用してください。
 - 壁が弱い状態のときは、「はり」などの補強をしてください。
 - コンクリート・モルタルなどの壁のときは、PYプラグを壁に打ち込み、木ねじで取り付けてください。

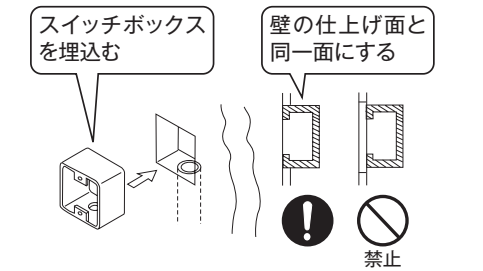


(3)取付板に台所リモコンを挿入する



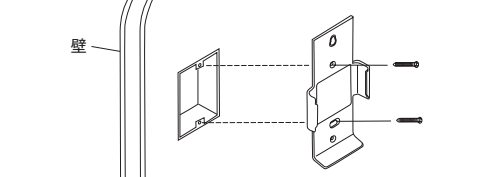
スイッチボックスに取付板を固定する場合

- (1)取付場所を選定する
- 壁に取付板を固定する場合の、「(1)取付場所を選定する」の項を参照してください。
- (2)スイッチボックスを埋め込む
- スイッチボックスを埋め込んでください。
 - スイッチボックスは壁の仕上げ面と同一面となるようにしてください。

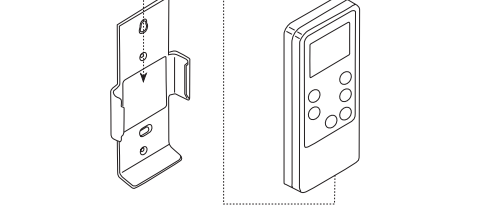


(3)取付板を壁に固定する

- 配線ボックスの取付ねじ穴に、取付板の取付穴を合わせ、同梱のねじ(2本)で固定してください。

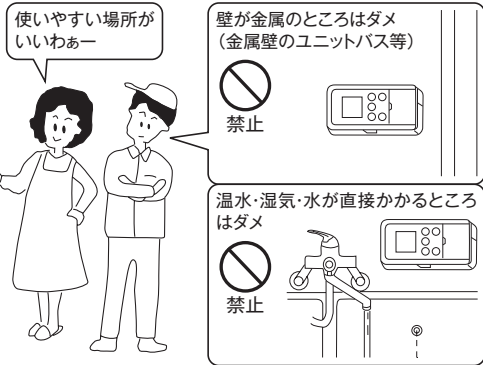


(4)取付板に台所リモコンを挿入する

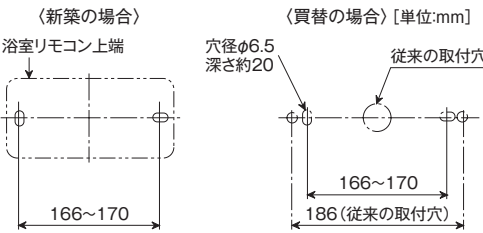
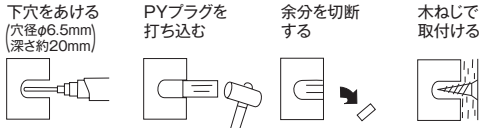


4 浴室リモコンの取り付け工事

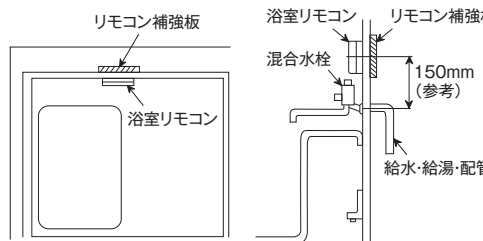
- (1)取付場所を選定する
- お客様と相談して使いやすい場所を選んでください。
 - 周囲の壁が金属でない場所を選んでください。
 - リモコンに温水・湿気・水が直接かかりにくい場所を選んでください。
 - 硫化水素、アンモニア等の多いところでは使用しないでください。
 - 取付板を取り付ける前に浴室リモコンで動作ができることを確認してください。
- このとき
- 浴室リモコンに電池が入っていること。
 - 電池の取付は⊕⊖を確かめて行ってください。(詳しくは電池ふたの表示参照)
 - 浴室リモコンは取付板に挿入し、リモコン固定ねじで固定していること。
 - 本体の電源プラグがコンセントに差し込まれていること。
- ※電池ふたに付いているOリングのグリスは拭き取らないでください。
- 壁面に凹凸のない場所を選んでください。



- (2)壁にPYプラグ用の穴をあける(一般浴そうの場合)
- φ6.5、深さ20mmの穴を壁に対して直角にあけてください。
 - 取付寸法を間違わないように穴をあけてください。

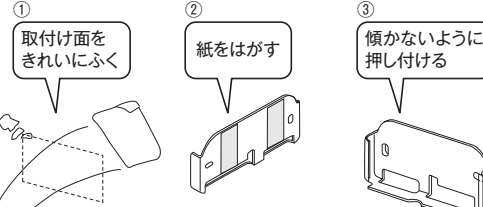


- (3)補強板を壁に固定する(ユニットバスの場合)
- ユニットバスを設置するとき、搬入の前にリモコン補強板をユニットバスの裏側に接着剤などで取り付けてください。



新築の場合

- (4)―①取付板を壁に固定する
- 取り付ける壁面を乾いた布などでよく拭いて、水気、油分を拭き取ってください。
 - 裏面のバックンに貼り付けている紙をはがしてください。
 - 取付板が傾かないよう押し付けてください。



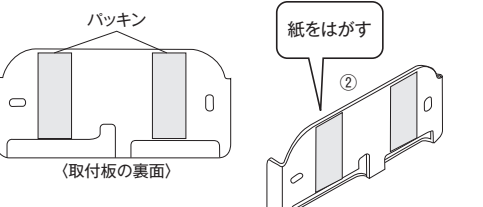
- (お知らせ)
- 取付板を壁面に固定すると簡単に取外しできません。無理して外すと壁または取付板が破損することがあります。

買替一般浴そうの場合

- (4)―①浴室内のリモコン用穴はコーキング材にて処理をする

- (お願い)
- 壁面よりコーキング材が出ていないこと。(取付板が壁面に密着できません)

(4)―②バックンに貼り付けている紙をはがす

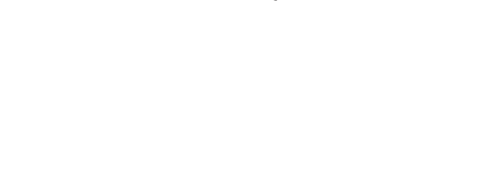
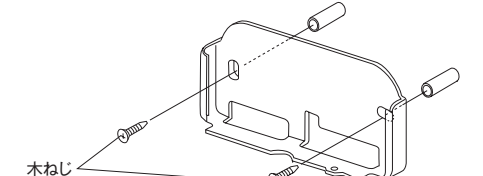


(4)―③取付板が傾かないよう押し付ける



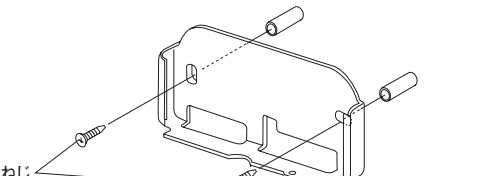
(4)―②取付板を木ねじで固定する

- 同梱の木ねじ(2本)で固定します。右図のようにPYプラグの穴位置が合っていることを確認し、木ねじで固定します。



(4)―④取付板を木ねじで固定する

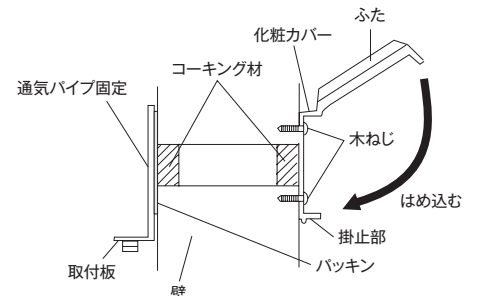
- 同梱の木ねじ(2本)で固定します。右図のようにPYプラグの穴位置が合っていることを確認し、木ねじで固定します。



(4)―⑤外壁面の穴はコーキングまたは化粧カバーを木ねじで固定し、仕上げる

(4)―⑥化粧カバーのふたをきっちりとはめ込んで固定する

- (お願い)
- 化粧カバーは、買替前に使用したものをご注意ください。



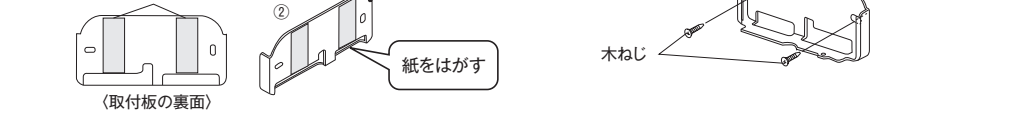
買替ユニットバスの場合

(4)－①浴室内のリモコン用穴の周囲(幅10mm)をコーキング材で塗布する

〔お願い〕
●取付板と壁面のすき間からリモコン用穴に水滴が浸入しないようにしてください。



(4)－②パッキンに貼り付けてある紙をはがす



■取付板を固定しましたら浴室リモコンを取付板に挿入し、リモコン固定ねじで固定します。



5 通信ユニットの取付方法

■通信ユニットの取付場所の選定

- 熱源機本体の側面には設置しないでください。
 - 金属物への取り付けや金属物の近く、全周が金属でおおわれた場所には設置しないでください。
 - 通信ユニットは燃焼排ガスの熱の影響を受けない壁面に取り付けてください。
- なお、熱源機の排気口から通信ユニットまでの距離については、熱源機の手説にある「機器と「不燃材料以外の材料による仕上げをした建築物などの部分」との離隔距離」の図に従ってください。
- メンテナンスが確保できる位置に取り付けてください。
 - 通信ユニット2芯ケーブルの長さを確認してから取付位置を決定してください。

家屋などの壁面に取り付ける場合

- 〔お願い〕
- 天地を逆にして取り付けしないでください。
 - 屋外に設置するときは、
・たて向きに設置してください(傾きの許容の目安は左右各15°以内)
・横向きに設置しない
通信ユニット内に水が浸入して故障の原因になります。
- ※通信ユニットの固定に際しては、予めリード線をはわせて熱源機本体に接続できる場所を選んでください。

①取り付けたい位置に、落下しないようにテープなどで仮固定する
※この時点で壁に穴を開けないでください。

②通信ユニットのアンテナを伸ばす(右図参照)
●このとき、アンテナが金属部に当たらないこと。
●アンテナを伸ばさない場合、通信ができないことがあります。
(故障表示「76」または「760」が点滅)

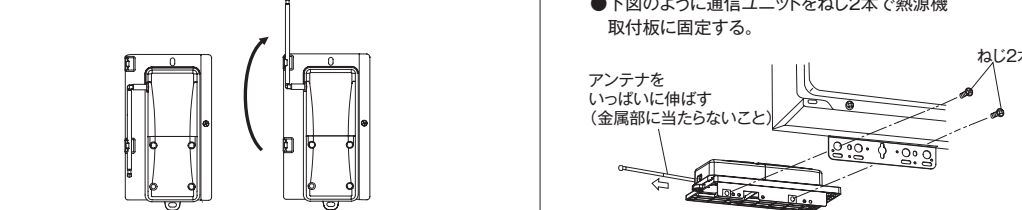
③熱源機側の設置工事説明書に従って2芯ケーブルを台所リモコンの2芯ケーブルと同じ方法で熱源機に接続する
※AC100Vには接続しないでください。

④電波強度の測定をする
※下に詳細を記載しています。必ず実施してください。
※電波強度のレベルが「53」未満の場合は、仮固定の位置を調整してください。

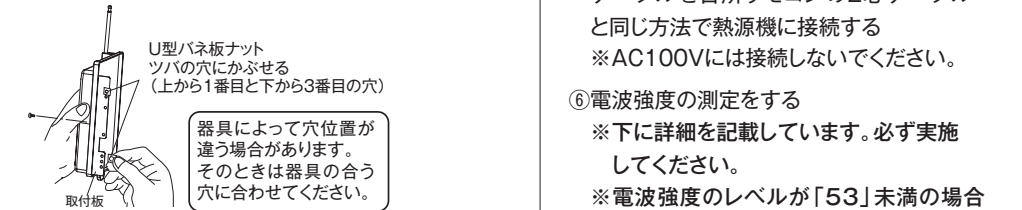
⑤通信ユニットを壁に固定する
必ず付属のPYプラグを壁に打ち込み、付属の木ねじで取り付けください。
(右図参照)

パイプシャフト設置の場合

①アンテナを逆方向にして、アンテナ固定で固定する



②同梱のU型バネ板ナットを取付板のツバ部につける
③取付板を通信ユニットに取り付ける



■電波強度の測定

通信ユニットを仮固定(実際に取り付けれる位置にテープ等で落下しないように固定)して、電波強度を測定してください。
最適な電波強度が確保できるまで、壁に穴をあけないでください。
※通信ユニットの仮固定の前にリモコンは全て取り付けてください。全てのリモコンで1つ1つ測定します。
※ID登録が必要なリモコンは必ずID登録を行ってから測定してください。
※全てのドア、窓を閉めて測定してください。
※リモコンをホルダーに収めた状態で測定してください。

①リモコンの運転スイッチを押して、運転「入」にし、設定されている給湯温度が、画面に表示されるのを確認してください。
②運転スイッチを押して、運転「切」にしてください。
③②の状態から、運転スイッチを5秒間押し続けて、画面に――が表示されることを確認してください。
測定中は、表示画面に送信マーク(☎)が点滅します。
しばらくすると、測定が完了し、電波強度のレベルが表示されます。
(電波強度のレベル範囲)LO、1～60、HI

※電波状況により、電波強度のレベルと――が交互に表示される場合があります。
表示が電波強度のレベルのみになるまで、しばらくお待ちください。
※リモコンと通信ユニットとの通信ができない場合、電波強度の測定が終了し、電源「切」になります。③より操作しなおしてください。数回操作しなおしても正常に電波強度が測定できない場合、通信ユニットの位置を変更してください。

④表示される電波強度のレベルが、「53」以上であることを確認してください。
⑤運転スイッチ以外のスイッチを押して、④と同様の手順で、電波強度を測定してください。
数回繰り返し、電波強度のレベルの変動が少ないことを確認してください。

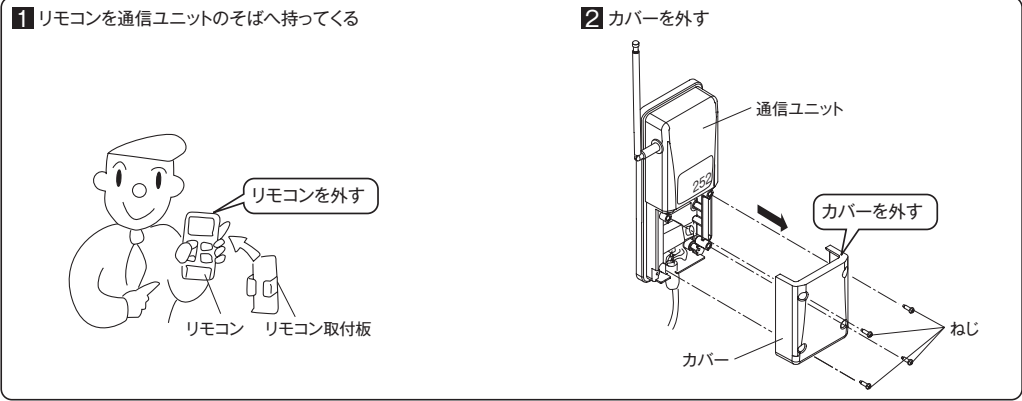
⑥電波強度が「53」未満の場合は、通信ユニットのアンテナの調整、または通信ユニットの位置を変更してください。
⑦電波強度を確認したら、運転スイッチを押して終了してください。

- 次の場合にも、電波強度の測定が終了します。
・5分間操作を行わなかった場合
・他のリモコンで熱源機が運転された場合
・試運転された場合
・リモコンの電池が切れたり、抜いた場合

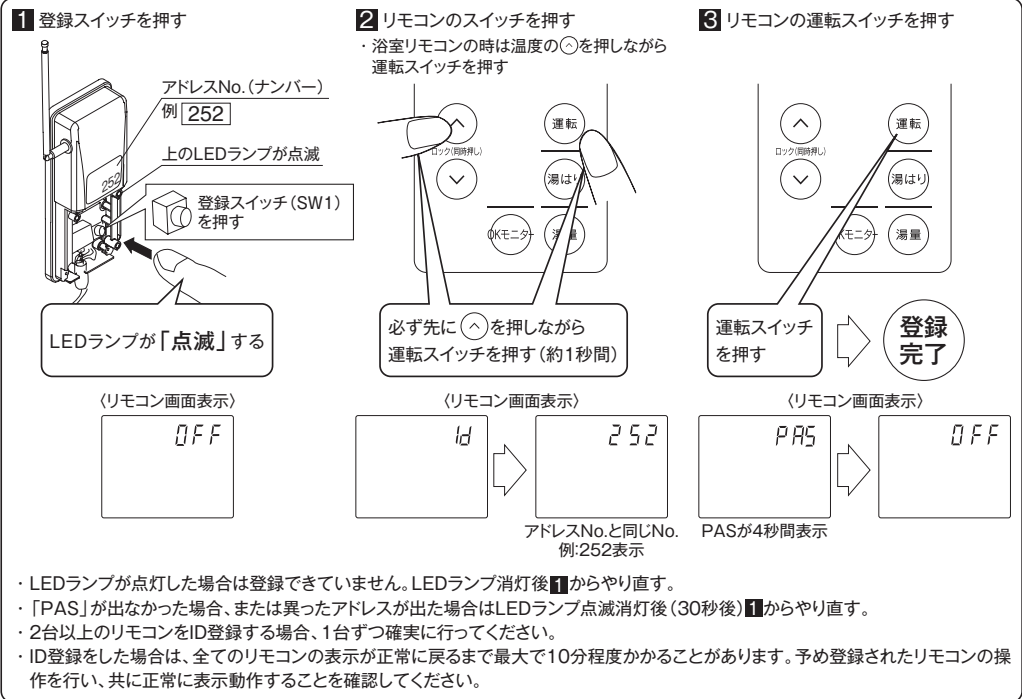
6 リモコン取付時のID登録のしかた

- リモコンは付属の通信ユニットに「ID登録済み」ですが、運転できない場合は再度ID登録してください。
- イラストは代表例として台所リモコンで説明していますが、浴室リモコン(別売)でも同じ要領でID登録を行います。

●準備 ●熱源機の電源を入れる➡リモコンに乾電池を入れる ※運転スイッチは「切」のままにする

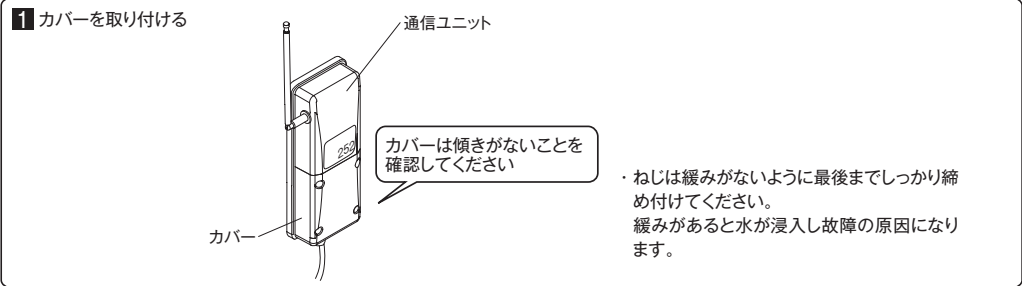


●ID登録 ●1～3までの操作を「約30秒以内に完了」させる



- ID登録を確認したい場合は○と○を押したままで運転スイッチを押すと確認できます。
- 故障表示「76」または「760」が点滅したときは電源プラグをコンセントに入れ再度運転スイッチを入れるか、リモコンから乾電池を抜いた後、画面表示が消えてから再度乾電池を入れてください。

●ID登録完了後



7 故障表示・メンテ情報表示について

■運転が正常でない場合、途中で停止し、リモコンに故障表示を表示します。この場合「故障表示について」(下表)または熱源機本体の取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を参照してください。

〈故障表示について〉			
表 示	現 象	原 因	処 置 方 法
—	台所リモコン(浴室リモコン)の表示が出ない。	台所リモコン(浴室リモコン)に電池が入っていないためです。 電池が正しく入っていないためです。	台所リモコン(浴室リモコン)に電池(アルカリ乾電池単3形2個)を入れてください。 電池を正しく入れ直してください。
OFF	運転スイッチを押してもOFF表示のまま。	画面が表示するのに約20秒かかる場合があります。	しばらくすると画面表示します。 (故障ではありません)
76 または 760	運転操作をしても動かない。	台所リモコン(浴室リモコン)と本体との通信ができていないためです。 本体の電源プラグが差し込まれていないためです。	通信ユニット正面のラベルに書かれているアドレスNo.(3桁の数字)と台所リモコン(浴室リモコン)裏面のラベルに書かれているアドレスNo.(3桁の数字)が一致しているか確認してください。 運転スイッチを再度押してください。 電源プラグを差し込み、運転スイッチを押してください。(画面が表示するのに1分程度かかる場合があります)

〔お知らせ〕電源プラグを差し込んだとき、熱源機本体で音が発生しますが、異常ではありません。
モーターの位置を初期化しているために発生している音です。

リモコンスイッチを操作することによりメンテ表示等をリモコンに出すことができます。

	台所リモコン	浴室リモコン
メンテ情報表示方法	湯量設定と☺を同時に2秒以上押す(解除も同じ)	温度☺と湯量☺を同時に2秒以上押す(解除も同じ)
サービス終了信号	湯量設定と☺を同時に2秒以上押す	温度☺と湯量☺を同時に2秒以上押す
故障記憶モニター表示	OKモニタースイッチを押す	OKモニタースイッチを押す

8 工事後の確認

工事が完了しましたら下記の要領で確認してください。

- ①リモコン取付板が確実に固定されているか確認する
- ②リモコンの動作確認をする(取扱説明書参照)
 - 運転スイッチを「入」にして優先表示・温度表示の点灯を確認する。
 - (電源を「入」にした直後はスイッチ操作を受け付けない場合があるので、電源「入」にしてから約5秒後スイッチ操作をする)
 - リモコンによる温度設定ができることを確認する。

お客様への説明

- 熱源機本体の取扱説明書、リモコンの取扱説明書に従って使用方法を説明してください。特に「安全上のご注意」「使いかた」「アフターサービス」についてよく説明してください。